

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

C 児童福祉施設

3 つくし学園

令和5年3月改訂

魚 津 市

(所管部署：社会福祉課)

目 次

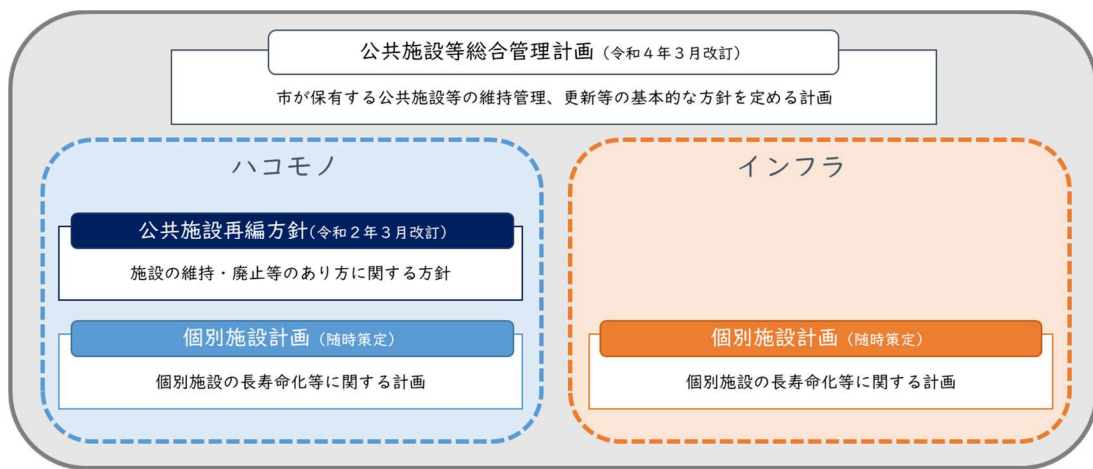
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 6
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 7

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「つくし学園」とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

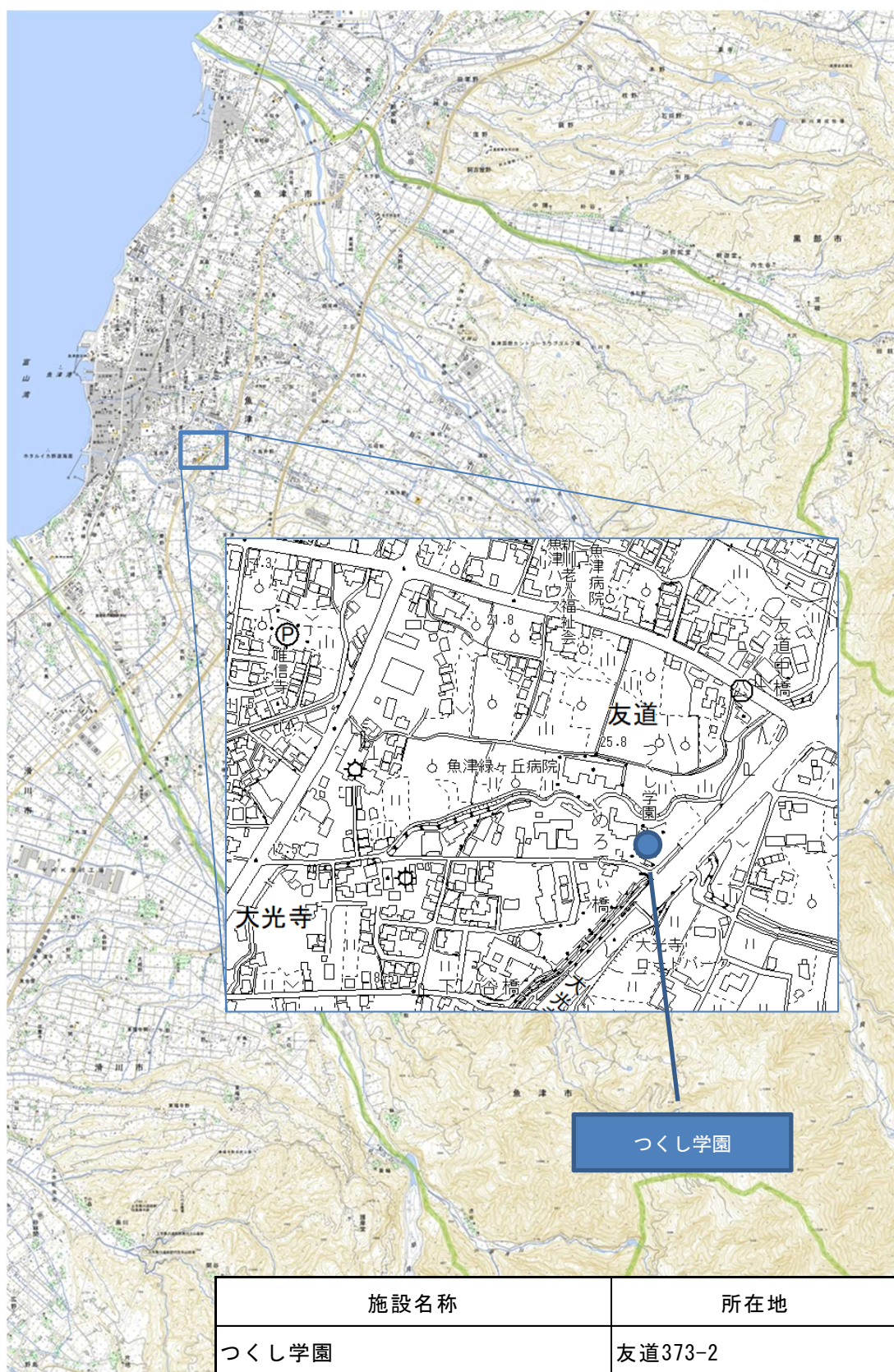
2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称		建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
										耐震化改修	長寿命化改修		
											屋根	外壁	他
1	つくし学園	園舎	S48	48	RC/1	280.00	2,595 (2,595)	98.2%	2023年度末で廃止予定	対象外		2008年	

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和3年度末時点

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R1	R2	R3	R1				R2				R3			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	つくし学園	5,197	5,106	4,729	65,315	55,377	9,938	1,151	66,429	56,141	10,288	635	75,466	59,263	16,203	199

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

つくし学園は、障害児を通所させ、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練を提供するために設置された福祉型児童発達支援センターです。

3.2 現状と課題

国の方針では児童発達支援センターを市町村に1箇所もしくは圏域に1箇所設置しなければならないことになっています。

施設の老朽化などにより建替えや再配置について近隣市町及び県と協議を重ね、旧上野方小学校用地を活用し民設民営で施設を再整備することになりました。今後は、（整備運営事業者である）民間法人が令和6年4月の供用開始を目指し、施設整備の手続きを進めます。

3.3 今後の考え方

①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和元年改訂版）抜粋）

<再編方針>	目標年度：短期（R6）
○建替えや再配置の必要性について、近隣市町及び県と協議を進め、方針を示す。 ○整備や運営については、民間活力の活用も視野に入れながら行う。	

②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的

に対策を実施するものとします。

③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

④施設の長寿命化について

現施設は、経年に伴い老朽化が進んでおり、また、今後必要とされるサービスを提供するには面積が不足することから、長寿命化の抜本対策は行わず、事後保全的な維持管理を継続します。

更新後の新施設については、目標使用年数を 60 年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から 20 年及び 40 年を経過する年度から 5 年以内を目途に実施するものとします。

⑤社会的なニーズへの対応について

施設の整備にあたり、照明の LED 化、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化等に係る改修を実施します。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
1	つくし学園																				

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、本施設は民間法人による建替えを目指すこととし、民間法人による新施設の供用開始に合わせ廃止するものとします。

※ 民間法人が整備する新施設の運営に関し、安定的に福祉サービスが提供できるよう関係自治体と協力して支援していくことが必要です。

3. 5 対策費用

民間法人による新施設供用開始後、本施設を解体する予定にしており、解体費用として2,300万円程度を見込んでいる。